

平成30年度 第5回重粒子線医工連携セミナー

第4回 RADIOTHERAPY MOONSHOT共催

「人工知能とは何か、 そしてディープラーニングによる進展」

講師 新納 浩幸 先生
(茨城大学工学部情報工学科 教授)

昨今、「人工知能 (AI, Artificial Intelligence)」という用語をよく見かけるようになったと思います。これはディープラーニングという機械学習手法の進展に依るものです。

本講演では「人工知能」とは何なのか、機械学習とどう関係しているのか、そしてディープラーニングは今までの機械学習手法と何が違うのかをまとめます。

ディープラーニングは、それまでの機械学習手法が問題としていた特徴抽出部分を自動化できるというのが大きな特徴です。確かにそれは間違いありませんが、注意して欲しいのは、それは画像識別だけの話だということです。人工知能の問題全体を考えた場合、画像識別で解決できる部分は、大きくはありますが、全体ではありません。特に言語の問題に関しては、ディープラーニングが貢献できる部分は少ないです。この点で少し世の中は騒ぎすぎの感じもします。

ディープラーニングが画期的なのは画像の特徴抽出ではなく、「敵対的生成ネットワーク (GAN, Generative Adversarial Networks)」という技術だと思っています。世の中で話題となるディープラーニングは、GANの応用であることもよくあります。GANの紹介と、私の専門である自然言語処理から見たディープラーニングの技術を概観し、現状の人工知能の可能性と限界も話します。

参加費
無料

日時

2018年12月11日(火) 17:00 - 18:00

場所

群馬大学 重粒子線医学センター カンファ室

お申込み

群馬大学重粒子線医学研究センター 猪爪

前橋市昭和町3-39-22 Mail inoino@gunma-u.ac.jp

☎ 027-220-8378 FAX027-220-8379

